インタビュー

新セキュリティ運用基盤を活用した 「総合リスクマネジメントサービス」 をグローバルシームレスに展開

"Global ICT Partner"を目指し、「グローバルクラウドビジョン」に基づく事業展開を加速するNTTコミュニケーションズ(以下、NTT Com)。社会問題化するセキュリティリスクの高まりや、安全保障問題にもなっているサイバー攻撃の多発といった状況を踏まえ、NTT Comは新セキュリティ運用基盤を活用したトータルセキュリティアウトソーシングサービス「総合リスクマネジメントサービス」を、海外子会社のIntegralis社、Secode社と一体で、グローバルシームレスに展開している。サービスを主管する経営企画部の与沢和紀マネージドセキュリティサービス推進室長に、取組み状況をうかがった。

"Global ICT Partner"として、 セキュアなICT環境の実現に注力

一はじめに、2012年7月1日に、経営企画部内に「マネージドセキュリティサービス推進室」(以下、MSS推進室)を設立されましたが、その背景・狙いからお聞かせください。

与沢 NTT Com は現在、通信事業 者ならではのクラウドサービスをグ ローバルシームレスにご提供する 「グローバルクラウドビジョン」を 基軸に事業展開しています。その関 連サービスとして、クラウドとオン プレミスが混在するハイブリッド環 境に対応したセキュアなICT環境の 実現に向けたトータルセキュリティ アウトソーシングサービス「Bizマ ネージドセキュリティサービス」を グローバルシームレスに提供してい ます。グローバル展開を加速する国 内外のお客様向けに、このサービス をより積極的に訴求し、サービス展 開を一段とドライブすることと、 NTT Comが買収したIntegralis社、 Secode社と連携した総合力を完全 に活かしきるために、MSS推進室を設立しました。両社は、欧米で高い実績を持つセキュリティ専門会社ですが、グローバルでの展開を確固たるものにするために、指揮命令権をクリアにしてMSS推進室主ディでしてMSS推進室主ディをといたとなったセキュリティは国ごとでもとなった体制を構築することが出まれている。セキュリティは国ごとに規制や文化的に差異があり、セキュリティは国にという。セキュリティは国ごとに対した。セキュリティは国ごとが当ましいが、運用基盤)は各国内に設置することが望ましいが、運用は



NTTコミュニケーションズ(株) 経営企画部 マネージドセキュリティサービス推進室 室長 **与沢 和紀**氏

グローバルシームレスなマネージド サービスを実現するプラットフォー ムの開発コントロールも MSS 推進 室が行っています。

経営環境、ICT環境、脅威の変化で、セキュリティ上の課題も変化

──事業の状況はいかがですか。

与沢 図1に示すように、クラウド サービスの普及や企業のクロスボー ダ化の進展等により、セキュリティ 上の課題が大きく変化してきていま



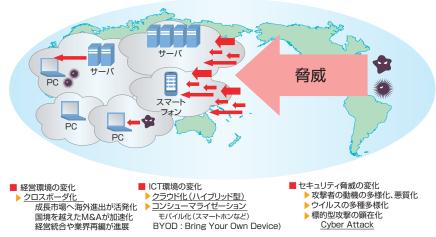


図1 セキュリティ上の課題の変化

す。不正アクセスやウイルス感染、 情報漏えいなどのセキュリティリス クの高まりが社会問題化しているほ か、国際社会において安全保障問題 にもなってきているサイバー攻撃が 多発しています。特徴的なのは、ネ ットワークセキュリティは当然のこ とながら、ガバナンスやコンプライ アンス上のリスクマネジメントも重 要となってきたことです。このよう な状況を踏まえ、昨年下期から今年 の上期にかけて、新しいセキュリテ ィ脅威への対応を可能にする新セキ ュリティ運用基盤「SIEMエンジン」 の開発・構築や、グローバルで統一 したGRC(ガバナンス、リスク、 コンプライアンス)の可視化・分 析·評価手法「Global Enterprise Methodology (GEM)」の確立に特 に注力してきました。GEMを活用 することで、グローバルで同一品質 のコンサルティングサービスの提供 が可能になりました。

「総合リスクマネジメントサービス」 をグローバルシームレスに展開

一詳細は後続の各論頁でご紹介しますが、新セキュリティ運用基盤とGEMを活用した「総合リスクマネジメントサービス」を本年3月より開始されている・・・・。

与沢 NTT Comと Integralis社、Secode社、そしてNTTセキュアプラットフォーム研究所が共同で、標的型攻撃などセキュリティリスクの検知・分析機能を強化した新しいセキュリティ運用基盤として、「セキュリティ情報・イベント管理エンジ

ン (SIEMエンジン)」を開発しま した。本基盤と前述したGEMを活 用して、お客様のICT環境における セキュリティ対策をトータルで請け 負うMSSと、あらゆるセキュリテ ィリスクの調査・改善・モニタリン グを総合的にコンサルティングする サービスを合わせた「総合リスクマ ネジメントサービス」を本年3月よ り米国および日本で提供開始し、順 次グローバル展開を拡大していま す。極力人手を介さずに自動化を図 るSIEMエンジンを開発したこと で、従来のMSSと比較し、同じ料 金でかなり高度なサービスを提供す ることが可能になりました。

リスクマネジメントに関するコンサルニーズは高まっているのですか。

与沢 グローバルの収入では今現在、コンサル収入がMSS収入を上回っています。欧米では従来から、セキュリティリスクのコンサルティングに対して、必要なお金を払うという傾向にあります。一方、セキュリティ事件・事故が増加しているのます。従来のリカーリングキーでも、そういった意識が高まりでジネスとしてのMSSに加え、上流のリスクマネジメントのコンサービスをセットで、しかもグローバルシームレスに提供するというのが、新たな取組みです。

---新セキュリティ運用基盤のグロー バル展開の基本方針は・・・・。

与沢 日本、米国ではすでに構築・ 運用していますが、NTT Com、 Integralis社、Secode社のグループ 統一のセキュリティサービスプラッ トフォームとして、イギリス、シンガポール、オーストラリア、マレーシア、スウェーデン、ノルウェー、ドイツ等、既存基盤のバージョンアップ並びに新設をしていきます。海外については、NTT Comの現法が、グローバルクラウドビジョンのセキュリティオプションサービスを中心に、オンプレミス環境はIntegralis社の子会社が主に販売します。国内は従来通りクラウドとオンプレミス環境の両方がターゲットです。

世界7カ所のGROCを軸にグロー バルシームレスにサービス提供

──最後に今後の展開をお聞かせくだ さい。

与沢 今年度第一四半期は、グロー バル展開の拡大に加え、世界各地で のセールストレーニングとMSS事 業者としての認知度向上に向けたマ ーケティング活動に注力していま す。また、セキュリティ運用体制に ついても、既存の世界6カ所(日本、 米国、シンガポール、英国、スウェ ーデン、ノルウェー)のSOC(セ キュリティオペレーションセンタ) を、マレーシアを加えたGROC (グローバルリスクオペレーション センタ) に再構成しています。事業 目標としては、グローバルでリカー リング収入とコンサルティング収入 で年率20%増を目指しています。 またアグレッシブな目標ですが、 2015年春にはユーザー数1.5倍、セ キュリティ管理デバイス数を8000 台に倍増したいと思っています。

本日は有り難うございました。